

あいちトリエンナーレ2013、開幕から1ヵ月が経ちましたが、みなさんお楽しみいただけているでしょうか？展示だけではなく、パフォーミングアーツの公演やトークイベント、ワークショップやモバイル・トリエンナーレなど、毎日のように沢山のイベントが開催されており、どれに行ったらいいか困っちゃう！という方もいらっしゃるかもしれません。

さて、そんな中ではありますが、今週9月21日、22日の土日の夜、名古屋市科学館からここ、愛知芸術文化センターまでを結ぶ、大規模なイベントの準備が進められています。高橋匡太《Glow with City Project》です。

このプロジェクトは、1,000人の参加者の方々に提灯を持って行列してもらおうというものですが、ただの提灯行列ではありません。名古屋市科学館、長者町のアーケード、オアシス21、そして愛知芸術文化センターがいつもとは違う姿にライトアップされ、その光と提灯の光とがシンクロすることによって、名古屋の都市の中心部の風景を変貌させよう！という壮大なプロジェクトなのです。

せっかくなので、先日行われたテストの様子をちょこっとだけお見せしちゃいます（※写真では建物のライトアップと提灯はシンクロさせていません）。前回のあいちトリエンナーレ2010では名古屋城に光のタワーが出現する《spectra[nagoya]》が話題になりましたが、今回はまた違ったかたちで名古屋の街を光が彩ることになります。



写真は 20 名ほどのスタッフが提灯をもっている様子なので、当日はなんとこの 500 倍もの人数で提灯をもって行列をつくることに…ものすごい光景になりそうです！

当日の受付時間（17:30-18:25）に白川公園の中央広場北側噴水付近にお集まりいただければどなたでも参加できます（先着 1,000 名／参加無料。小学生以下は保護者同伴でお願いします）。皆様のご参加をお待ちしております！

(KS/SS)